

【参考】

徳光 PA スマート IC 社会実験の概要

(1) スマート IC 社会実験の目的

日本の高速道路が利用されにくい理由の一つに、隣接する IC と IC の距離が長いこと(平均約 10 km)が挙げられます。そこで、国土交通省では、既存の高速道路の有効活用や地域経済の活性化を推進するため、建設費や管理費を削減できるスマート IC (ETC 専用 IC) の導入を検討しています。

本実験は、一般道に容易に接続可能な既存の SA・PA に ETC 専用の仮設出入口を設置し、スマート IC 運営上の課題等を把握するものです。



徳光 PA スマート IC 社会実験の目的

今後のスマート IC の円滑な導入を図るため、**整備・運営上の課題**を把握
分離型 PA 及びハイウェイオアシスでのスマート IC の整備運営上の課題を把握
恒常的スマート IC 設置を視野に入れ監視員、誘導員の人員配置等を含む運営上の低コスト化を検討
地域住民の利便性向上、企業活性化、観光・交流の促進等の効果を把握
通勤を主とした日常生活における高速道路利用促進効果を把握
松任市に集積した工業団地等の企業活性化効果を把握
観光産業への促進効果を把握

(2) 経緯

- | | |
|----------------------|--|
| 平成 16 年 4 月 6 ~ 23 日 | 国土交通省が候補箇所を募集 |
| 平成 16 年 6 月 18 日 | 全国の実験候補箇所として 35 箇所を登録と発表
(徳光 PA が登録) |
| 平成 16 年 6 月 24 日 | 第 1 回徳光 PA スマート IC 地区協議会設立準備会 |
| 平成 16 年 7 月 21 日 | 第 2 回徳光 PA スマート IC 地区協議会設立準備会
社会実験実施を国土交通省に申請 |
| 平成 16 年 7 月 23 日 | 徳光 PA スマート IC 社会実験 採 択 |
| 平成 17 年 1 月 27 日 | 第 1 回徳光 PA スマート IC 地区協議会開催 |
| 平成 17 年 4 月 11 日 | 徳光 PA スマート IC 社会実験 開始 |

(3) 実験期間

開始：平成17年4月11日(月) 12:00

終了：平成17年7月10日(日) 24:00

(4) 対象車種 (ETC 限定) *二輪車及びけん引車両は利用対象から除外

上り(福井方面): 軽自動車、普通車、中型車、大型車、特大車

下り(富山方面): 軽自動車、普通車

[北陸道を横断する既存の通路に制限があるため(幅4.0m、高さ3.4m)]

(5) 実験運用日時

実験期間中の毎日24時間の運用として実験を行います。

(6) 実験期間中の通行料金

現在の通行料金の算出方法に従い算出します。

普通車の場合	(通常料金)	《通勤割引*》
徳光スマートIC ↔ 金沢西IC	350円	200円
徳光スマートIC ↔ 小松IC	550円	300円

*** 通勤割引：朝夕の通勤時間帯(6~9時、17~20時)を5割引(大都市を除く)。ただし100km以内。**

*** 料金に関する問い合わせ先：日本道路公団 金沢管理事務所 TEL076-249-8111**

(7) 実験終了後の対応

交通量調査や利用者アンケートなどの結果から、徳光PAにおけるスマートIC設置効果を検証し、公表します。

(ご利用上の注意)

簡易なETC出入口のためスマートICではETCゲートの前で**必ず一旦停止**が必要です。ご利用にあたっては、ETC車載器に**カードを挿入して通行**して下さい。

ETCカードのみのご利用はできません。

天候や機器の故障など道路管理上必要な場合、予告無しにスマートIC車線を閉鎖する場合がございますのでご了承ください。